

# まえばし 市議会だより

No.175

2026・2

前橋市議会発行



## — 主な内容 —

- 第4回定例会の概要…………… P.2
- 会派別の質問事項…………… P.2～3
- 総括質問…………… P.4～10
- 議案等の議決結果…………… P.11
- 意見書…………… P.12

高校生模擬議会（市立前橋高等学校）



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>



## 一般会計補正予算などを可決

昨年、十一月二十七日から二十日間の会期で第四回定例会を開き、「令和七年度一般会計補正予算」など市長提議案四十五件、議会議案一件、意見書案七件を審議しました。また、十一月二十七日付けでの小川市長の退職に全会一致で同意しました。その概要を紹介します。

## ○第1日（11月27日）

開会に先立ち、十一月五日に逝去された金井清一議員のご冥福を祈り、出席者全員で黙祷をした後、小曽根議員から追悼の言葉がありました。

富田議長の宣告により第四回定例会を開会し、会期を十二月十六日までの二十日間と決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、四十四件の市長提議案を上程し、所管の各部長が提



議場で多くの議案を審議

案理由の説明を行いました。

続いて、十一月二十五日付けで小川市長から提出された退職願に、十一月二十七日をもって退職したい旨の記載があり、法定期日前の退職については、地方自治法第四百五十五条の規定により議会の同意が必要となるため、市長の退職期日同意の件を議題とし、小川市長の発言の後、採決を行った結果、全会一致で十一月二十七日付けでの小川市長の退職に同意しました。

## ○第2日（12月4日）

上程中の議案や市政に対し、十一人の議員が総括質問を行い、細谷副市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ10ページに掲載）

## ○第3日（12月5日）

前日に続き、十二人の議員が総括質問を行いました。

## ○第4日（12月8日）

五日に続き、八人の議員が総括質問を行いました。次に、上程中の議案四十四件

について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から議案第三百三十二号など八議案に対する反対討論、七星から議案第四百四十二号に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11ページに掲載）

## ○第5日（12月16日）

初めに、公平委員会の委員に福島英人さんを選任したいとする人事議案を上程し、採決を行った結果、これに同意しました。

次に、議会議案第三号を上程し、小曽根議員から提案理由の説明の後、日本共産党市議団から反対討論があり、採決を行った結果、原案のとおり可決しました。

続いて、意見書案七件を上程し、採決を行った結果、四件の意見書を可決しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）最後に、細谷副市長から挨拶があり、第四回定例会は閉会しました。

## 会派別の質問事項

## □前橋高志会

- ①熊出没対策②ビブリオバトル③前橋市居住支援協議会の設立④技能労務職の技能継承⑤リチウム電池の回収⑥公用車の管理⑦介護認定⑧困難な問題を抱えた女性への対応⑨シティプロモーション⑩おくやみ相談窓口⑪書籍関係のイベント⑫前橋の健康を守る取組⑬屋外広告物⑭橋梁メンテナンス⑮安全な道路環境の維持⑯市政情報の発信⑰自治会支援⑱市街地再開発地域へのアクセス⑲宿泊税の導入⑳前橋空襲と復興資料館㉑市民のにぎわい創出㉒子供施策㉓PTA㉔消防事業㉕市民生活㉖地域の諸課題㉗青少年における市販薬のオーバードーズ㉘働きやすい職場環境㉙防災③〇消防③①地域公共交通計画③②新教育情報ネットワークの構築③③市内公立幼稚園③④市内小中学校における平和教育③⑤教員の集金会計業務③⑥市内小中学校における宿泊を伴う旅行的行事③⑦市内小中学校における音楽活動③⑧市民生活利便性向上の取組③⑨農業施策④〇市民の安全④①防犯④②行財政改革推進計画④③図書館④④学校施設利用④⑤第八次総合計画④⑥環

境政策

### □前橋令明

①これからの市政  
②広瀬団地再生ビジョン③共生  
社会の推進④医療体制⑤地域の  
諸課題⑥公共交通⑦学校給食⑧  
商工会の防犯灯⑨カーブミラー  
の設置⑩中小企業支援⑪道路整  
備⑫物価高騰対策⑬就職支援⑭  
安心安全なまちづくり⑮学校教  
育⑯ばら園⑰元総社蒼海土地  
画整理事業⑱西部第一落合土地  
画整理事業⑲デジタル活用事  
業⑳婚活事業㉑移住者受入れ事  
業㉒農業政策㉓教育行政㉔農業  
㉕空き家㉖企業立地の推進㉗部  
活動の地域展開㉘ウェルビーイ  
ング㉙ふるさと納税㉚友好都市



電子採決の様子

③公園管理④赤城山観光⑤クリ  
エイティブシティ構想⑥都市計  
画道路の整備⑦水道事業⑧斎場  
の火葬⑨職員の健康

### □日本共産党市議団

①物価高

騰に苦しむ市民生活を支える本  
市の支援②粕川公民館の早期改  
修③空き家の適正管理と活用④  
千代田町中心拠点地区再開発事  
業の問題点⑤前橋市立小中学校  
の適正規模・適正配置基本方針  
の見直し⑥千代田町中心拠点地  
区再開発事業の見直し⑦社会保  
障の拡充で地域経済の活性化⑧  
学校や子供施設利用における値  
上げの問題点⑨水道料金の更な  
る値上げの問題点⑩住みやすい  
市営住宅のための抜本的な改善  
⑪道路の安全対策

### □公明党市議団

①群馬総社駅

整備事業②生涯活躍のまちづく  
り③地域資源を生かした新たな  
観光振興④交通ネットワークの  
充実⑤住宅政策⑥文化振興⑦ご  
み減量の取組⑧交通政策⑨千代  
田町中心拠点地区再開発事業に  
おける行政の責任⑩令和八年度  
予算編成

### □まえばし市民クラブ

①誰も

取り残されない福祉のまちづく  
り②不登校対策の強化③本市職  
員の働き方、休み方改革④介護  
事業所支援⑤防災におけるDX

⑥本市におけるDXの取組⑦マ  
インバーカード⑧ICT教育  
⑨保育所のDX⑩空き家対策⑪  
基幹的農業従事者⑫窓口開閉時  
間⑬学校施設利用促進事業  
□七星 ①都市計画②千代田町  
中心拠点地区再開発事業  
□なないろ ①子供②教育③選  
挙④動物  
□無所属の会 ①市街地エリア  
②図書館③子育て施策  
□暁鐘 ①エネルギー政策②公  
共空間の利活用③鳥獣害対策  
□無所属クラブ ①農村整備②  
有害鳥獣駆除③東部地域の諸課  
題

## 高校生模擬議会を開催

令和七年十二月十八日に前橋  
市立前橋高等学校の探究学習  
(主権者教育)の一環として、  
二年生の皆さんによる模擬議会  
が議場で開催されました。模擬  
議会では、生徒が議長として議  
事を進行し、高校生ならではの  
視点から十八名の生徒が代表質  
問を行い、所管の部長などがこ  
れに答えました。

また、模擬議会の開催に先立  
ち、十月二日に高校の授業へ十  
三名の議員が参加し、代表質問  
の基となる各クラスのマニフェ  
ストへの助言などを行いました。



模擬議会



事前授業

### 【委員会行政視察】

議会運営委員会が所管する事  
項について調査し、本市におけ  
る議会運営の参考とするため、  
令和七年十一月六日、七日に県  
外行政視察を行いました。

○和歌山県和歌山市

①議会だよりの編集②SNS  
を活用した議会広報活動③主権  
者教育の取組

○大阪府和泉市

①議会改革活性化会議の運営  
状況②政策力強化に関する取組  
③主権者の参画に関する取組④  
議会だよりの編集





前橋高志会  
近藤 登



## 熊よけスプレーの支給

〈問〉熊が出没したとき、猟友会に駆除を依頼しますが、地元  
の猟友会長には、熊の危険を肌  
で感じるようになってきたので、  
熊よけスプレーがあるとありが  
たいとの回答をもらいました。  
被害対策実施隊員に熊よけス  
プレーを支給することについて、  
当局の考えを伺います。

〈答〉緊急銃猟の判断がされた  
場合に使用する熊よけスプレー  
は準備しているところですが、  
平時の有害鳥獣駆除においては、  
今後各猟友会と協議しながら、  
猟友会の意向を尊重して装備品  
を充実させたいと考えています。

## ビブリオバトル

〈問〉逝去された金井清一議員  
がこよなく愛し、その普及に尽  
力されていたビブリオバトルを、  
教育長はどのように広げ、取り  
組んでいきたいと考えているの  
かを伺います。

〈答〉公民館と図書館で連携協  
力して実施することで、読書普  
及活動を推進するとともに、地  
域での多世代交流と学び合いの  
場の創出につなげられると考え  
ています。街なかのイベントで



前橋高志会  
新井 美加



## 認定審査期間の今後の方向性

は民間主体で開催されたり、学  
校教育の現場でも多様なアプ  
ローチができると考えています  
ので、今後検討を行いながら、前  
橋らしい魅力あるビブリオバト  
ルが地域で育まれていくことを  
目指したいと考えています。

〈問〉本市の介護の認定審査期  
間は、全国平均より短いですが、  
要介護者を抱える家族にとつて  
は、より迅速に認定されれば、  
今後の介護に対する不安が減る  
と思います。認定審査期間の日  
数をより少なくするための①課  
題②今後の方向性を伺います。

〈答〉①主治医意見書は郵送な  
ので、更なる工夫が必要な状況  
です②国が介護情報基盤の整備  
をすること、電子的に情報を  
共有でき、情報共有の迅速化、  
業務の効率化を実現すべく準備  
を進めています。今後、介護認  
定事務での活用も期待されるの  
で、国の動向を注視しつつ関係  
機関とも連携を進めていきます。

## 看護師等養成所への支援拡大

〈問〉市内の看護師や准看護師  
を確保するには学生の確保が課  
題で、各養成所の安定的な運営



前橋高志会  
林 倫史



## 再開発事業に伴う渋滞対策

〈問〉国道十七号や立川町通り  
は渋滞が発生しがちであり、千  
代田町中心拠点地区再開発事業  
によって、更なる交通混雑の悪  
化が懸念されますが、本事業に  
伴う渋滞対策について伺います。

〈答〉千代田町中心拠点地区の  
西街区に、地下駐車場として約  
百五十台分が計画されています  
が、出入口の位置や駐車ゲート  
へのアプローチ距離など、渋滞  
を緩和できるよう設計者側と検  
討しています。また、周辺の駐  
車場を活用するため、空き情報  
を共有できるようなデジタルサ  
ービスの導入検討など、渋滞緩  
和と併せて快適な交通環境を確  
保していきたいと考えています。

## 宿泊税の導入

〈問〉宿泊税は、観光の活性化



前橋高志会  
間仁田 諭



## 青少年におけるオーバードーズ

〈問〉本市では販売現場と教育  
現場の両面で、青少年における  
市販薬のオーバードーズを含む  
薬物乱用防止を推進しています  
が、法改正に伴う更なる取組の  
強化が必要だと考えます。そこ  
で、今後の取組を伺います。

〈答〉販売現場では、よりいっ  
そう監視指導に力を注いでいき  
ます。また、家庭での医薬品管  
理の重要性を保護者に理解して  
もらえるよう、教育委員会など  
の関係機関と密に連携し、効果  
的な啓発を図っていきます。

## 郷土芸能の継承

〈問〉郷土芸能を継承するに当  
たり、資金不足や担い手不足が

大きな課題となっています。課題の解決に向けた本市の取組について伺います。

〈答〉補助制度の用意や、広く市民に披露する場を設けたり、各地域の郷土芸能の行事予定を本市ホームページに掲載し、周知を図っています。今後も活動の支援や市民が郷土芸能に触れる機会を創出していくことで、さまざまな課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。



前橋高志会  
吉田 博昭



## 広瀬川河畔緑地の課題

〈問〉公共空間の利活用が進むことは、まちの魅力向上、魅力発信にとつてたいへん意義深いと考えます。一方、近隣住民から利用者のマナー違反などの苦情が寄せられています。広瀬川河畔緑地の現状の課題として、苦情への対応を伺います。

〈答〉利用後の清掃の徹底や音響設備の配置などを指導した結



広瀬川河畔緑地

果、苦情は減少傾向ですが、引き続き情報発信を通じたトライアルサウンドディングの利用促進とルール遵守の徹底に努めます。

## 画像伝送システムの現状

〈問〉消防事業において、画像伝送システムはなくてはならないもので、本市消防局は、県内の消防で唯一導入していますが、現状について伺います。

〈答〉災害現場の映像をリアルタイムで共有でき、災害対応の即応性強化を図る重要なシステムです。また、映像を災害対策本部室へライブ配信することで、災害現場や隊員の活動状況を正確に把握でき、現場への指示や活動方針の確実性向上につながると考えています。



前橋高志会  
小川 真太郎



## 前橋空襲と復興資料館

〈問〉前橋空襲と復興資料館は、平和について学習する際に活用できる、すばらしい施設であると考えます。市内小中学校における、今後の活用計画について伺います。

〈答〉社会科学や総合的な学習の時間など、校外学習をする際の候補地の一つとして活用できるよう、歴史的価値や活用意義、



前橋空襲と復興資料館

活用方法を教職員へ具体的に紹介していきたいと考えています。

## 小中学校の集団宿泊的行事

〈問〉児童生徒の豊かな心を育み、人間性を確立していくには、ふだん学校ではできない体験や達成感などを経験することがたいせつです。そこで、小中学校における旅行、集団宿泊的行事の実施状況について伺います。

〈答〉おおむね小学五年生と中学一年生で林間学校、小学六年生と中学三年生で修学旅行を実施しています。両行事を通じて、平素と異なる環境で自立性、社会性、共同性、困難を乗り越える力などが育まれ、人間として大きく成長できるとても有意義な機会となっています。



前橋高志会  
山田 秀明



## 県や隣接市との施策展開

〈問〉本市はGunmaasなどの県との連携を強化していますが、今後はどのような事例を

活用し、県や隣接市との施策展開を考えているのか伺います。

〈答〉Maemaeasは令和四年度末から県のサービスGunmaasとして実装し、令和六年十月からは渋川市も含めたエリアで展開されるなど、自治体同士の横展開事例で注目されています。本市で提供されているめぶくIDの技術は、他地域で好事例が創出されれば本市への展開が期待できるので、めぶくグラウンドには積極的な情報共有を依頼しています。

## 野生動物による被害対策

〈問〉いのししや熊などが人里へ降りてこないように山林に餌となり得る樹木を植え、野生動物の生息域を一定の範囲内にコントロールすることが可能か、当局の見解を伺います。

〈答〉野生動物による被害対策で、生息域への植樹も有効な対策かもしれませんが。森林や河川内の緩衝帯整備、間伐、樹木転換などを積極的に進めます。



前橋高志会  
須賀 博史



## 今後の学校施設利用の運用

〈問〉学校教育に支障のない範



困で市立学校の市民利用を認め、学校施設利用運営委員会と開放管理者が学校開放に携わってきましたが、役割に重複があると感じています。令和八年度からキーボックスの運用が始まりますが、今後の学校施設利用促進事業の運用について伺います。

〔答〕 開放管理者制度は令和七年度末で終了し、利用団体への注意喚起や危険箇所の把握、対応などは学校施設利用運営委員会にお願いします。今後は貸し館システムでの予約となります。

## 一般廃棄物処理基本計画

〔問〕 本市で新たに策定する令和八年度からの一般廃棄物処理基本計画の①進捗状況②目標値設定の考え方を伺います。

〔答〕 ①廃棄物減量等推進審議会などを通じて素案の作成を行うとともに、パブリックコメントを実施し、令和七年度末の策定に向けて事務を進めています②資源ごみを含んだごみ総排出量の考えから、ごみ焼却量の削減を新たな目標値として設定することを考えています。



前橋令明  
佐藤 祥平



〔問〕 広瀬団地再生への今後の取組

策定を契機に、つなぐまち広瀬の会が設立され、地域主体によるまちづくり活動が始まっています。つなぐまち広瀬の会との連携を含め、今後の取組及び若年層の呼び込みに向けた政策の検討状況について伺います。

〔答〕 つなぐまち広瀬の会が主体となり実施する取組に対し、地域再生推進法人への指定を視野に入れた伴走型支援を行います。また、子育て世帯や働く世代が住みやすい環境の整備など多様なライフスタイルに対応した施策を検討しています。

## 旧広瀬中学校の整備

〔問〕 旧広瀬中学校は、前橋市広瀬スポーツ・カルチャーセンターとして整備が進められていますが、供用開始に向けた今後のスケジュールを伺います。

〔答〕 条例改正や指定管理の手續きを進め、令和八年度中の体育館と多目的室及びサッカー場の供用開始を目指しています。



前橋令明  
小淵 一明



## 東部共同調理場の再整備

〔問〕 東部共同調理場は老朽化が進み、早期の再整備が必要な状況です。安全、安心な学校給食を断続的に提供するためには、



東部共同調理場

早期更新が不可欠と考えますが、更新計画の進捗状況と今後の更新構想について伺います。

〔答〕 移転用地を選定できていないため、当初計画を延伸し、令和十二年度の開設を目指して候補地を検討しています。より安全で質の高い給食の提供を目指し、ハード、ソフト両面から検討したいと考えています。

## 群大附中通線の用地取得

〔問〕 群大附中通線の整備事業について、用地取得の今後の進め方を伺います。

〔答〕 残りの用地取得は、大正橋南側の建物などの移転を含む三件が対象です。令和八年度には補償契約を締結できるよう、書類の準備や関係者との調整、予算措置を計画的に進めます。



前橋令明  
水野 芳宣



〔問〕 道路の舗装改良要望

ある程度劣化が進んだ箇所は、舗装改良という根本的な機能回復が不可欠です。自治会から出された道水路整備要望を十四工種に分類して集計しているとのことですが、舗装改良要望の件数と実績、要望を実施するに当たって、どのような点を判断要素としているのかを伺います。

〔答〕 令和六年度の舗装改良の要望件数は二百七十四件、実施件数は八十一件です。実施の判断基準に明確な定めはありませんが、現地確認を行い、舗装改良の規模や損傷状態など、道路の利用状況を総合的に判断し、他の整備要望や予算を考慮しながら実施箇所を選定していて、実施に係る期間をおおむね三年以内、十年未満、十年以上に分類しながら、取り組んでいます。



前橋令明  
堤 波志芽



## 物価高騰対策

〔問〕 十一月二十一日に閣議決定された総合経済対策では、エネルギーや食料品価格などの物価高騰の影響を受ける生活者や事業者への支援として、重点支援地方交付金の追加と支援内容の拡充が示されました。物価高騰対策は、地域の実情に応じた

速やかな対応が求められますが、重点支援地方交付金の交付限度額の見込みと活用に関する考え方を伺います。

〔答〕現時点では、国から具体的な金額は示されていませんが、今回の交付限度額はおおむね二十一億円と見込まれます。活用については、食料品の物価高騰に対する特別加算への対応のほか、国の推奨事業メニューに新たに加わった賃上げ環境整備などを含め、幅広く支援策を検討していきたいと考えています。



前橋 令明  
木部 秀人



## 西部第一落合土地区画整理事業

〔問〕西部第一落合土地区画整理事業について、令和七年度補正予算の土木費に計上されている繰越明許費の繰越額五千七百二十四万八千円から八千二百二十四万八千円への変更内容と現状の進捗率を伺います。

〔答〕変更の内容ですが、延長約七十メートル、幅員十メートルの区画道路整備工事にかかる費用です。工事場所については、区域内のお寺の南側で、整備途中の区画道路を西側に延伸すべく工事を行うものです。落合地区全体の事業の進捗を図るべく、

追加で変更を行い、繰越額も増額したいと考えています。また、当該地区事業の進捗率は、令和六年度末において一・三％となっていて、内訳は、道路施工率一・六％、建物移転率一％となっています。



前橋 令明  
市村 均光



## 空き家の相談及び対応状況

〔問〕空き家の増加は全国的にも深刻な社会課題となっていて、本市でも防犯や景観、安全面などさまざまな影響が懸念され、市民や自治会からも日常的に多くの相談が寄せられています。これまでに市に寄せられた相談の内容や件数、どのような対応を行っているのかを伺います。

〔答〕相談内容は、隣地への越境や道路にはみ出した樹木などの繁茂の苦情が多く、令和六年度の空き家に関する問い合わせは約千件でした。市としての対応状況は、現地調査を行い、所有者などに条例に基づいた助言書を送付しています。助言指導を行っても改善されない場合は、管理不全空家などに認定し、指導、勧告を行います。最終的には特定空家などに認定し、代執行への流れとなっています。



前橋 令明  
下田 一成



## 部活動の指導者不足への対応

〔問〕部活動の地域展開を進めるうえで、指導者の確保や質の向上は大きな課題です。地域クラブを立ち上げる際には、保護者が中心となって運営している例も見受けられ、指導者不足が顕在化していますが、指導者不足への対応について伺います。

〔答〕教育委員会と前橋市まちづくり公社では、指導者・サポートスタッフバンクへの登録を推進し、ホームページなどで周知を図っているところです。教職員も希望により、ボランティアや兼業兼職の許可を得て、地域クラブの指導に携わっています。今後は、指導者が安心して活動できるよう、研修会の提供や活動環境の整備についても検討していきます。また、県とも連携し、人材の発掘や育成を進めていきたいと考えています。



前橋 令明  
林 幸一



## 都市計画道路の整備

〔問〕クリエイティブシティ構想の社会実験で、一般車両の通行規制が行われ、自動車社会の

本市では、不自由に感じる人が多く、実現が難しいと感じました。構想の実現には、周辺道路の整備が必要です。利根川に架かる群馬大橋、利根橋、平成大橋、南部大橋をつなぐ重要な道路である宗南分線を整備すること、が、構想を実現するための第一歩だと考えます。また、中心市街地を回避し、江田天川大島線の利根川新橋の整備も必要と考えますが、見解を伺います。



日本共産党市議員  
近藤 好枝



## 学校や子ども施設の値上げ

〔問〕本市は令和八年四月から学校や子ども施設利用における値上げ方針を実施します。①体育館や校庭などの学校施設②児童文化センターのゴーカートについて、値上げはやめるべきと考えますが、見解を伺います。

〔答〕①施設の維持管理に係る



# 質問



児童文化センターのゴーカート

費用が大きくなっている、教育の充実に向けて一部を負担してもらいます。部活動の地域展開団体などは申請に基づき使用料を免除とし、子どもたちのスポーツを通じた健全育成を推進したいと考えています②安全な運行管理を維持していくために、一部を負担してもらう形で一回二百円に設定しました。子どもたちが将来にわたり安全に楽しめる環境づくりに努めます。



日本共産党市議団  
小林 久子



## 市民生活を守る独自の支援

〈問〉物価高騰に加えて、本市においては、上下水道、介護保険、国保、公共交通などの相次ぐ値上げが市民生活を追い詰めています。重点支援交付金の効果的活用とともに、本市独自の財源も投入して市民生活を守るべきと考えますが、①プレミアムつき商品券の事業実施②中小、

小規模事業者への直接支援③介護事業者の減収への支援について、見解を伺います。

〈答〉①交付金全体の方向性は、これから庁内で検討を行う予定です②資金面と経営面の両面から支援していますが、交付金の活用も視野に入れて検討することが必要と考えます③国や県の支援の動向などを注視していきたいと考えています。



日本共産党市議団  
吉田 直弘



## 再開発事業への財政支出

〈問〉千代田町中心拠点地区再開発事業は、市債発行だけで百八十四億円に上り、莫大な借金依存で市民のしわ寄せになるおそれがあります。①市債の発行における償還計画並びに財政計画②事業を適正規模にする検討をすべきで、現行計画で新たな財政支出はすべきでないとの考えについて、見解を伺います。

〈答〉①借入時点での金利動向などを考慮しながら、将来的な公債費による財政への影響を見通し、借入先や償還期間など市債発行の条件設定を検討していきます②事業の見直し、財源確保、公共施設のスリム化、市税収入の増加につながる投資の促

進などに覚悟を持って全庁的に取り組む必要があります。



日本共産党市議団  
吉原 大輔



## 水道料金の更なる値上げ

〈問〉水道料金は、二〇二二年度に一七％、二〇二五年度に四％の値上げを実施しました。令和十二年度から更に値上げの可能性があり、市民生活に更なる打撃となります。値上げの計画をやめるべきと考えますが、①当局の見解②重点支援地方交付金を使い水道の基本料金減免などを行うべきとの考えについて、見解を伺います。

〈答〉①将来の安定的かつ継続的な事業運営のためには、定期的に適正な料金設定を検討する必要がありますと考えています②全庁的に、対応可能な事業の検討を進めていて、水道局においても、当該交付金の拡充に対応可能な事業について、検討を進めているところです。



公明党市議団  
高橋 昭代



## 草木類のリサイクル

〈問〉持続可能な社会の実現のため、日常的に大量に排出される草木類を資源として捉える必

要があると考えます。家庭から排出される草木類のリサイクルについて、今後どのように取り組むのか伺います。

〈答〉市有施設を活用した拠点回収の試行を検討していて、コンテナに市民が自ら搬入してもらうことを考えています。回収した草木類は、バイオマス発電のエネルギー源として、年間約六百トンの資源化を目指します。

## 登下校時の公共交通の利用

〈問〉本市では市立小中学校の通学手段は徒歩または自転車とされています。子どもたちを事故や事件から守るためには、家庭の希望に応じて公共交通を選択できることも大事だと考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉登下校時に公共交通を利用することには、さまざまな利点があると考えられます。まずは教育委員会や校長会と情報を共有していきます。



公明党市議団  
中里 武



## 市の財政負担の圧縮

〈問〉千代田町再開発事業について、組合認可から工事発注までの期間において、更に工事費が増大する可能性を考慮し、今の段階から圧縮、減築も検討し



ていく必要があると考えますが、見解を伺います。

〔答〕実施設計に向けた現段階から、市の財政負担に関わるコスト圧縮策を踏まえた取組について、施策の規模や構造など、さまざまな視点から検証する必要があると考えています。

## 国の物価高騰対策

〔問〕国の物価高騰対策について、具体的な施策や事業化に向けてどのような工夫や知恵を絞り込み、迅速な実行につなげていくのか伺います。

〔答〕国の補正予算成立前に、庁内各部署に対して支援策や事業提案の募集を行いました。食料品の物価高騰に対する特別加算や国の推奨事業メニューのほか、他市の事例なども参考にし、早期の予算化、事業実施に向けて検討を進めています。



公明党市議員  
石塚 武



## 自転車を活用した新たな取組

〔問〕太陽誘電株式会社及び前橋旅館ホテル協同組合と連携協定を締結し、自転車を活用した新たな取組を行っているとのことですが、その取組内容と実績について伺います。

〔答〕長距離対応の電動自転車



電動自転車リバイク

リバイク五台と他の電動アシスト付き自転車十台を組合加盟の宿泊施設に無償で貸し出し、宿泊客に利用してもらうものです。利用件数は百一件と決して多くありませんが、満足度九四％と高い評価をもらっています。

## 群馬総社駅西口線の整備

〔問〕群馬総社駅西口線の整備について、①用地測量の内容と実施状況②令和七年度の今後の取組について伺います。

〔答〕①事業に必要な用地取得に向け、権利関係を明確にするための用地測量を六月に発注し、九月には関係権利者による土地境界線確認を実施しました②路線測量や移転費用の算定のための建物調査を行う予定です。



まえばし市民クラブ  
三森 和也



## きょうだい児への支援

〔問〕病気や障害のある子どものきょうだいは、親を独占する

時間が少ない状況から寂しい思いをすることが多く、保護者も平等に愛情が注がない葛藤などの悩みを抱えて生活しています。きょうだい児について社会的関心を高め、理解を深めるための啓発活動を含めた支援策の検討が必要ですが、本市としての考え方と支援の在り方を伺います。

〔答〕きょうだい児は、心理的な負担や制約を生活の中で抱えています。自分自身の思いや悩みを一人で抱え込んでいたりすることから、関係機関と連携し、把握に努め、必要な支援につなげたり、子どものための相談窓口の周知や関係者向けの研修を検討したいと考えています。



まえばし市民クラブ  
大澤 智之



## 所有者不明の空き家への対応

〔問〕相続人不在、遠縁しかないなど、相続放棄や絶家により、所有者不明の空き家が増加していると聞いています。所有者不明の空き家に対し、どのような対応が可能なのか伺います。

〔答〕空家特措法に基づき、所有者などの調査を行い、必要に応じて家庭裁判所への申し立てによる相続財産清算人制度の提案をしています。制度の活用

には費用の負担を伴うことから、空き家敷地の売却可能性が低い場合には費用回収が困難となるため、裁判所に認められないケースもあります。このため、個別の状況を丁寧に調査したうえで、地域住民の安全確保を最優先に、現実的かつ持続可能な方法で対応したいと考えています。

## 兼業農家支援



まえばし市民クラブ  
角田 修一



〔問〕兼業農家でも、意欲ある担い手として市町村に認められれば、公的支援制度を利用できますが、経営開始資金の要件を初めから満たすには、認定新規就農者であることや、地域計画での位置づけなど、複数の要件を全て満たさなくてはなりません。また、親の農地を引き継ぎ、就農するケースが今後増えることも考えられ、兼業農家支援はたいへん重要だと考えますが、



兼業農家へ支援を

# 総括質問

本市の見解を伺います。

〈答〉経営開始資金は制度改正により、要件が緩和されました。兼業農家も含め、意欲ある農業者が認定取得や安定的な農業経営を進められるよう、情報提供や相談体制を図り、担い手の育成に努めたいと考えています。



七星  
中林 章



## 南部地区のまちづくり

〈問〉本市では、立地適正化計画における都市機能誘導区域に人口を誘導するために土地利用を変更していくようですが、都市計画マスタープランで地域核、地域拠点に指定されている南部地区は、都市機能誘導区域になるのか、どんなまちづくりを目指しているのか伺います。

〈答〉都市機能誘導区域は、都心核や地域核などの中から人口や都市機能の集積状況、公共交通の利便性の観点から位置づけられています。南部地区は、大規模商業施設の立地を生かした、南部地区の生活を支える拠点として、居住の誘導の他、医療、福祉施設の機能強化と子育て世代の機能が充実したまちづくりを

目指すこととしています。



なないろ  
入澤 蘭子



## こども基本条例

〈問〉本市は子どもの権利を重視した条例制定に向け、約二年間検討してきました。大人が子どもの声を聞き、子どもが安心して社会参加することで、子どもの主体性などの向上、更には施策もより実効性のあるものになると期待できますが、①これまでの取組や検討の経過②今後の展開について伺います。

〈答〉①令和六年度に、こどものまち前橋推進本部、有識者会議、若者会議を設置し、こども基本条例の検討を進めました。令和七年のパブリックコメントでは、子どもを含む百十五名から百四十八件の意見をもらいました②子どもが安心して健やかに、自立した個人として成長できる社会の実現に努めます。



無所属の会  
宮崎 裕紀子



## 電子版母子健康手帳

〈問〉国は、電子版母子健康手帳のガイドラインを令和七年十二月に示すとしていて、本市も導入と活用を目指す必要があります。

ます。親子健康手帳アプリ、オヤコプラスは、予防接種などの管理ができる一方、電子版母子健康手帳が開始されれば、一部重複したサービスになると思いますが、今後の方針を伺います。

〈答〉電子版母子健康手帳の導入と活用を目指し、検討を進めています。オヤコプラスは、情報政策課が所管し、運営はこども支援課ですが、電子版母子健康手帳導入後は、こども支援課に一元化する方向です。利用者の利便性向上と負担軽減の観点から比較を行い、最適なアプリを導入したいと考えています。



曉鐘  
岸川 知己



## 前橋版シユタットベルケ

〈問〉シユタットベルケはドイツ発祥の自治体出資の企業体で、公共サービスを一体的に担う公営企業です。前橋版シユタットベルケは電力の地産地消を軸に、交通事業への展開や公共施設のマネジメントなどを視野に入れつつ市が一定のガバナンスを持つ、地域エネルギー公的な器を想定しています。大規模災害や電気料金高騰などのリスクに応えることができますが、本市での実現可能性を伺います。

〈答〉発電施設の確保や電力需給バランスの専門的な管理、安定運営、人材確保など、地域の実情に応じた体制を構築する必要があります。エネルギー企業などと情報交換を行いながら、研究する必要があると考えます。



無所属クラブ  
阿久澤 萌



## スクールバスの導入

〈問〉一部の学区ではスクールバスが導入されていますが、①導入の考え方②運行範囲を広げる際の課題と対応策について伺います。

〈答〉①宮城地区の宮城小学校及び粕川地区の月田小学校と粕川中学校の通学で導入していますが、児童生徒の安全確保や保護者負担の軽減に係る運行効果が高いこと、合併時に運行体制が整っていたことなど、既存のスクールバスの運行効果の維持を基本としています②運行台数を増やす対応が考えられますが、予算上、すぐに実現することは厳しい状況です。運行経路の柔軟な見直しや徒歩区間の安全対策など、できるだけ細かく対応していきたいと考えています。





議案等の議決結果

第4回定例会に提出された議案等の議決結果は次のとおりです。

○市長提出議案

議案	件名	議決結果
第129号	令和7年度前橋市一般会計補正予算	可決(全員)
第130号	令和7年度前橋市後期高齢者医療特別会計補正予算	可決(全員)
第131号	令和7年度前橋市介護保険特別会計補正予算	可決(全員)
第132号	令和7年度前橋市産業立地推進事業特別会計補正予算	可決(多数)
第133号	令和7年度前橋市水道事業会計補正予算	可決(全員)
第134号	令和7年度前橋市下水道事業会計補正予算	可決(全員)
第136号	前橋市部設置条例の改正について	可決(多数)
第137号	前橋市職員等の旅費に関する条例の改正について	可決(全員)
第138号	前橋市公契約基本条例の改正について	可決(全員)
第139号	前橋市防災会議に関する条例の改正について	可決(多数)
第140号	前橋市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の改正について	可決(全員)
第141号	道の駅まえばし赤城の設置及び管理に関する条例の改正について	可決(全員)
第142号	前橋市子ども基本条例の制定について	可決(多数)
第143号	児童福祉法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全員)
第144号	前橋市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の改正について	可決(全員)
第145号	前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	可決(多数)
第146号	前橋市屋外広告物条例の改正について	可決(全員)
第147号	前橋市道路占用料徴収条例の改正について	可決(全員)
第148号	前橋市営納骨堂条例の改正について	可決(全員)
第149号	前橋市火災予防条例の改正について	可決(全員)
第150号	前橋市立学校職員の給与等に関する条例の改正について	可決(全員)
第151号	前橋市学校問題対策専門委員会設置条例の改正について	可決(全員)
第152号	前橋市公園条例の改正について	可決(多数)
第153号	前橋市議会議員及び前橋市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正について	可決(全員)
第154号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市総合福祉会館ほか)	可決(多数)
第155号	公の施設の指定管理者の指定について(千代田町二丁目立体駐車場ほか)	可決(全員)
第156号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋駅東側自転車等駐車場ほか)	可決(全員)
第157号	公の施設の指定管理者の指定について(前橋市林間研修施設おおさる山乃家)	可決(多数)

※賛成・反対の双方があった案件は網掛けで表示しています。

議案	件名	議決結果
第158号	工事請負契約の締結について(市庁舎外壁シーリングほか改修工事)	可決(全員)
第159号	工事請負契約の締結について(天川小学校南校舎長寿命化改良建築工事)	可決(全員)
第160号	工事請負契約の締結について(細井小学校中学校舎長寿命化改良建築工事)	可決(全員)
第161号	工事請負契約の締結について(上川淵公民館大規模改修及び増築建築工事)	可決(全員)
第162号	工事請負契約締結の議決事項の変更について(駒寄スマートIC産業団地造成事業雨水調整池築造工事)	可決(多数)
第163号	工事請負契約締結の議決事項の変更について(橋梁長寿命化修繕工事)	可決(全員)
第164号	物品の購入について(消防ポンプ自動車)	可決(全員)
第165号	物品の購入について(消防ポンプ自動車ぎ装)	可決(全員)
第166号	物品の購入について(消防ポンプ自動車シャーシ)	可決(全員)
第167号	物品の購入について(Chromebook)	可決(全員)
第168号	財産の譲与について(苗ヶ島町地内部分木)	可決(全員)
第169号	財産の譲与について(粕川町室沢地内部分木)	可決(全員)
第170号	市道の認定について	可決(全員)
第171号	市道の廃止について	可決(全員)
第172号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可決(全員)
第173号	群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取りやめに伴う財産処分に関する協議について	可決(全員)
第174号	公平委員会の委員の選任について(福島 英人氏)	同意(全員)

○議会議案

議案	件名	議決結果
第3号	市長において専決処分することができる事項の指定の改正について	可決(多数)

○その他

件名	議決結果
市長の退職期日同意の件	同意(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(○賛成、●反対)

議案番号	会派名 議員名	前橋高志会										前橋令明										共産党		公明党		市民クラブ		七	な	会	曉	ク							
		小曾根英明	藤江彰	近藤登	新井美加	富田公隆	窪田出	須賀博史	林倫史	山田秀明	小川真太郎	間仁田諭	吉田博昭	小淵一明	堤波志芽	横山勝彦	林幸一	市村均光	佐藤祥平	木部秀人	下田一成	水野芳宣	近藤好枝	小林久子	吉田直弘	吉原大輔	石塚武	高橋照代	中里武	明野康剛	角田修一	三森和也	大澤智之	中林章	入澤蘭子	宮崎裕紀子	岸川知己	阿久澤萌	
第132号、第136号、第139号、 第145号、第152号、第154号、 第157号、第162号 議会議案第3号		○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第142号		○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

\* 議長は議決に加わらないため「／」で表示しています。  
\* 会派名：共産党(日本共産党前橋市議会議員団)、公明党(公明党前橋市議会議員団)、市民クラブ(まえばし市民クラブ)、七(七星)、な(なないろ)、会(無所属の会)、曉(曉鐘)、ク(無所属クラブ)

## 意見書

第四回定例会では、意見書案四件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

### ○太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書

太陽光発電設備の廃棄・リサイクルに関する制度整備や支援を強化し、地方自治体が適正な処理と資源循環を推進できる体制構築に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう国に強く要望する。

①廃棄される太陽光パネルから有用な資源（シリコン、銀、ガラス等）を回収・再利用するため、国として研究開発支援及びリサイクル施設の整備促進を図ること  
②廃棄時における発電事業者や施工業者の責任を明確化し、適切な処理ルートの確保、不法投棄防止策、処理業者の認定制度の充実を進めること  
③地方自治体が廃棄物処理やリサイクル推進の現場で重要な役割を担うことから、必要な財政的支援・技術的助言など、

国による包括的な支援体制を強化すること。

### ○巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

今後発生が懸念される東海、南海トラフ地震や首都直下地震、さらには富士山噴火等の巨大災害は、我が国全体に極めて深刻な影響を及ぼすことが想定されていることから、国民の命と暮らしを守るために、災害に強い国づくりの実現に向けて、次の事項について速やかに対応されるよう国に強く要望する。

①東海、南海トラフ地震や首都直下地震等の発生に備え、発災時における国の支援体制を一層強化し、被災地への人員・物資・情報支援が円滑かつ迅速に行われる仕組みを確立すること  
②各地方自治体と連携し、災害時の情報共有体制、避難計画、医療・福祉・インフラ維持などの分野での協働体制を平時から確実に整備・確認すること  
③新設される防災庁においては、中央政府と地方自治体、各種支援団体との緊密な連携を図り、災害対応の一元化・

迅速化を実現するための機能を強化すること  
④国の防災施策や制度変更については、地方自治体に対して十分な説明責任を果たし、人的・財政的支援を適切に講じること。

### ○大学病院の経営支援と機能強化を求める意見書

特定機能病院がおもとを占める大学病院は、他の病院では通常提供が困難な診療を行うことが求められており、最先端の設備や多数の質の高い医療人材等が必要であり、多額の費用がかかる構造となっている。しかし、現在の診療報酬は、光熱水費の高騰や人件費の上昇等に見合ったものではなく、赤字が拡大している現状である。

大学病院は、地域医療の最後のとりでであり、継続的に高度医療を提供し、地域医療を維持するには、物価や賃金の上昇、医療の高度化等に対応した診療報酬水準への抜本的な見直し等を含めた取組を進めるべきであり、大学病院の経営支援と機能強化を、国に強く要請する。

### ○地方自治法第七十八条の見直しを求める意見書

近年、学歴詐称問題等、首長の資質に関わり、当該自治体での各起因はあるものの、議会による不信任決議案提出及び可決に及んだことを機に議会解散を選択する事例が見受けられる。

当該普通地方公共団体における任期満了前の本来必要な議員選挙や首長選挙の執行費用負担となるだけでなく、選挙に伴う行政運営の空白期間を招き、住民福祉増進のための不断の政策議論形成とは相反する事態が起きている。

このような中、地方自治法第七十八条の首長による「議会解散権」の在り方に注目が集まっている。

政策や行政運営上での対立により住民判断を求める議会解散とは筋違いな議会解散権の濫用と受け止めざるを得ない行為を予防し、公正公平な二元代表制に基づく地方公共団体運営のための法的見直しが喫緊の課題として浮上していることから、地方自治法第七十八条規定の首長による議会

に起因していない議会解散権行使に関し、速やかな見直しを図るよう国に強く要請する。

## 議 会 日 誌

昨年十月から十二月までに開催した主な会議は次のとおりです。（内は開催回数です。）

- 本会議(5)、総務・教育福祉・市民経済・建設水道常任委員会(2)、議会運営委員会(8)、各派代表者会議(10)

## 次 回 の 定 例 会

第一回定例会は三月三日(火)から二十六日(木)までの二十四日間を会期として開催されます。九日(月)は代表質問、十一日(水)、十二日(木)には総括質問が行われる予定です。十八日(月)、十七日(火)、十八日(水)、十九日(木)の四日間には各常任委員会の予算審査が行われる予定です。

本会議の傍聴は議会庁舎七階で、委員会の傍聴は議会庁舎四階の議会事務局で受け付けます。会議当日、受付に直接お越しください。

会議の様子はインターネット中継でもご覧いただけます。

インターネット中継→

